

写真-1. 5. 1. 1 国際地震工学研修の状況

表-1. 5. 1. 3 平成24年度研修修了者に対するアンケート調査結果（国際協力機構実施）

1)プログラムのデザイン		←適切				不適切→		計
通年研修	地震学・地震工学コース	12	6					18
	津波防災コース	4	1					5
グローバル地震観測研修		4	4					8
中国耐震建築研修		9	9					18
2)研修内容・教材		←良い				良くない→		計
通年研修	地震学・地震工学コース	9	8	1				18
	津波防災コース	4	1					5
グローバル地震観測研修		4	4					8
中国耐震建築研修		9	8	1				18
3)研修運営管理（ファシリテーション）		←良い				良くない→		計
通年研修	地震学・地震工学コース	12	6					18
	津波防災コース	3	2					5
グローバル地震観測研修		3	5					8
中国耐震建築研修		17	1					18
4)到達目標達成度		←十分に達成				未達成→		計
通年研修	地震学・地震工学コース	11	7					18
	津波防災コース	2	3					5
グローバル地震観測研修		2	6					8
中国耐震建築研修		4	12	2				18

(イ) 人材育成等の効果

国際地震工学研修の研修終了者は、1960年の開講以来、99ヶ国・地域から1,588名（平成25年3月末）となった。修了生の中には自国で地震工学、防災の権威として政府高官、研究所長、大学教授などで活躍している者も多数いる。過去に建築研究所が調べたところ、多くの修了生が、帰国後に各国の地震防災対策における指導的立場に就いていた。

例えば、Harsh Gupta氏（インド）はインド海洋開発庁長官、インド国立地球物理研究所所長、アジア地震学会会長を歴任、Djoko Santoso氏（インドネシア）はバンドン工科大学学長、教育省高等教育局長を歴任、Federico Guendel氏（コスタリカ）は国連機関である包括的核実験禁止条約暫定事務局（CTBTO）の局長、Julio Kuroiwa氏（ペルー）はペルー国立工科大学教授で国内130都市のハザードマップを整備し、故Roberto Morales氏（ペルー）はペルー国立工科大学長を歴任している。



Djoko Santoso 氏



Federico Guendel 氏



Julio Kuroiwa 氏

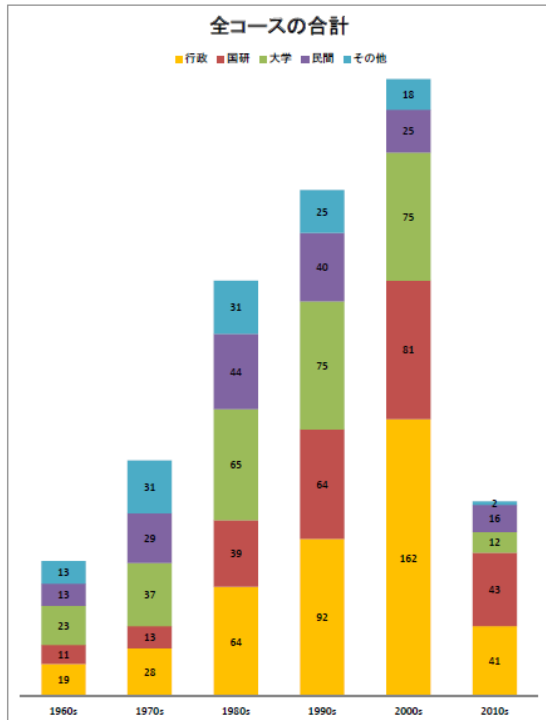
写真－1. 5. 1. 2 国際地震工学研修の研修終了者

建築研究所では研修効果の検証・検討を目的として、研修修了生を対象としたアンケートを2010年6月と2011年12月にわけて、連絡のつく全ての研修修了生にメールとFAXで実施した（回答数は合計337）。このアンケートは、平成22年11月に出された「独立行政法人建築研究所の主要な事務及び事業の改廃に関する勧告の方向性」において、「国際地震工学研修については、途上国支援としての研修効果を定量的に明らかにする」とされたことから実施したものである。

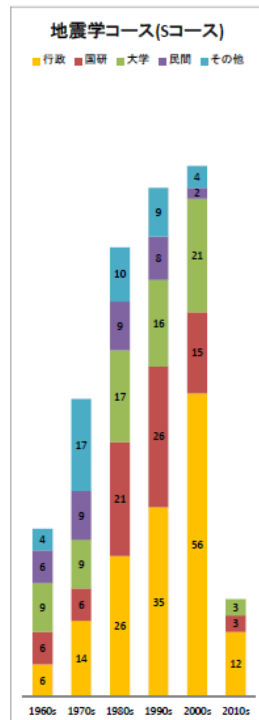
また、2012年末にまとめたYEAR BOOKの名簿から、研修各コースの修了生がどのような職業についているかを分析した。その結果、各研修コースにおける修了生の多くが行政に携わっており、コースにより若干の違いはあるものの国立研究機関や大学等がそれに続いている状況であった。なお、津波防災コースの修了生の9割以上が行政職に就いていた。このように国際地震工学研修は、中期目標で示される「開発途上国等における地震防災対策の向上に資するため、地震工学に関する研修を通じて、開発途上国等の技術者等の養成を行う」という成果を着実にあげている。

研修生の動向

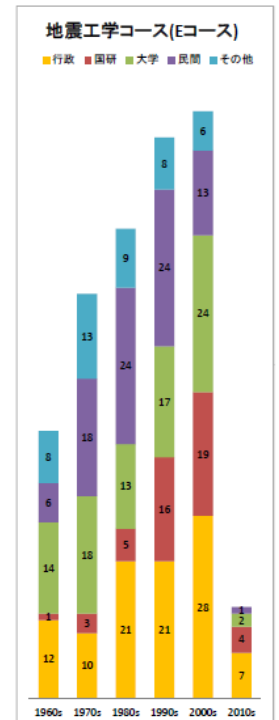
全コース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政	19	28	64	92	162	41
国研	11	13	38	64	81	43
大学	23	37	65	75	75	12
民間	13	29	44	40	40	16
その他	13	31	31	25	18	2



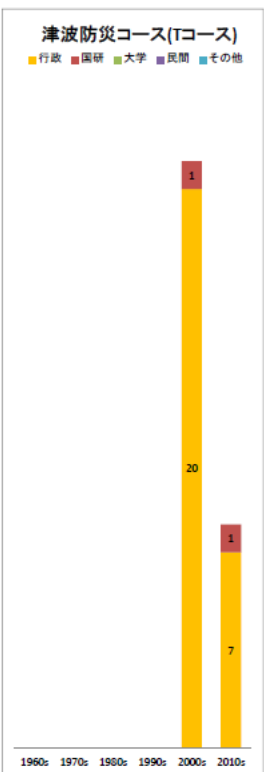
Sコース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政	6	14	26	35	56	12
国研	6	6	21	26	15	3
大学	9	9	17	16	21	3
民間	6	9	9	8	2	0
その他	4	17	10	9	4	0



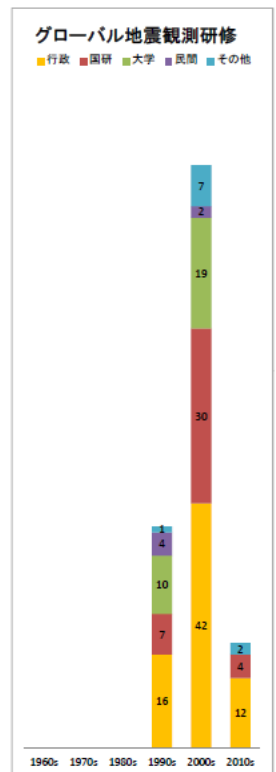
Eコース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政	12	10	21	21	28	7
国研	1	3	3	18	19	4
大学	14	18	13	17	24	2
民間	6	18	24	24	13	1
その他	8	13	9	8	6	0



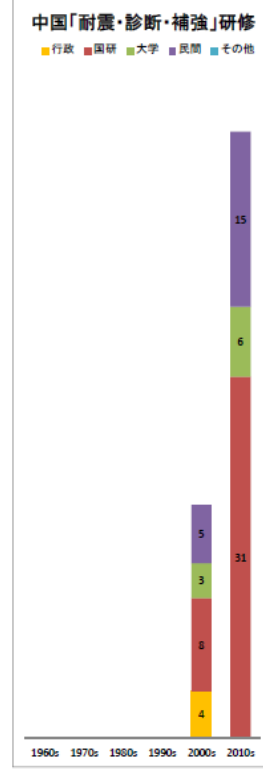
Tコース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政					20	7
国研					1	1
大学						
民間						
その他						



Gコース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政				16	42	12
国研				7	30	4
大学				10	19	0
民間				4	2	0
その他				1	7	2



Cコース	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政					4	
国研					8	31
大学					3	6
民間					0	15
その他					0	0



個別研修等	1960s	1970s	1980s	1990s	2000s	2010s
行政	1	4	17	20	12	3
国研	4	4	13	15	8	0
大学	10	35	32	8	0	0
民間	1	2	11	4	0	0
その他	1	1	12	7	1	0

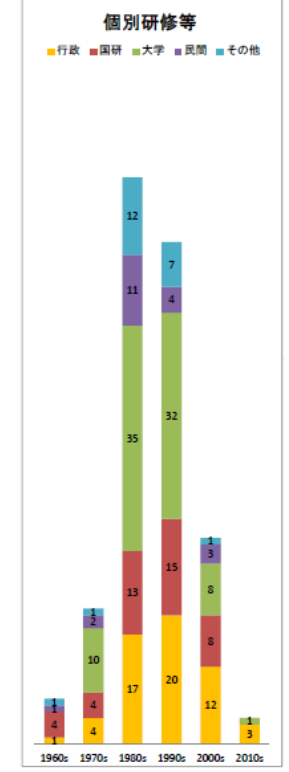


図-1. 5. 1. 2 国際地震工学研修修了生の動向